

インジウム及びその化合物標準測定分析法（個人ばく露測定）（レスピラブル）

構造式: In 及びその化合物		分子量:特定できない	CASNo.: 特定できない
許容濃度等 : OSHA NIOSH ACGIH 0.1mg/m³(In として)		物性等 密度 : - g/cm³ (20℃) 沸点 : - °C 融点 : - °C	
別名			
サンプリング		分析	
サンプラー : サイクロン(25mmΦ,37mmΦ) (GS-3 Multiple-inlet Cyclone・SKC inc.製) (GS-1 Respirable Dust Cyclone・SKC inc.製) サンプリング流量 : 2.75L/min (GS-3)、2.0 L/min (GS-1) サンプリング時間 : 480min 採気量 : 1320L (GS-3)、960L (GS-1) 保存性 : 抽出用混酸で抽出後の試料液 (抽出液) は 15 日間までは常温で変化しないことを 確認 ブランク : 検出せず		分析方法 : ICP-MS 法 抽出 : 抽出用混酸 (水 : 硝酸 : 塩酸 = 4 : 1 : 3) 17mL : 160℃ホットプレートで蒸発乾固直前ま で加熱、冷却後、希釈用酸 (5%抽出用 混酸) で 40m L に定容 総インジウムとして定量 機器 : Agilent 7500 i RF パワー : 1400W RF マッチング : 1.7V キャリアーガス : アルゴン 1.0L/min 測定質量数 (m/Z) : 115 積分時間 : 0.3sec (3 回繰り返し) 検量線 : 市販標準液(1000 μ g /mL)を希釈酸 (5%抽出用混酸) で調整 0~100ng/mL の範囲で直線 濃度計算 : 干渉補正式を使用 定量法 : 絶対検量線	
精度			
回収率 101% (99~103%) 検出下限 (3 σ) 0.02ng/mL (酸溶液の濃度) 定量下限 (10 σ) 0.07ng/mL (酸溶液の濃度) 0.000002mg/m³(採気量 1320L, 定容液量 40mL) 0.000003mg/m³(採気量 960L, 定容液量 40mL)			
適用			
妨害			
リット参考 NIOSH Manual of Analytical Methods No.7301 SKC Inc. GS-3Multiple-inlet Cyclone Catalog Nos.225-100 and 225-103 SKC Inc. Publication #1711 Rev 1008			

インジウム及びその化合物の標準測定分析法（作業環境測定）（レスピラブル）

構造式: In 及びその化合物		分子量:特定できない	CASNo.: 特定できない
許容濃度等 : OSHA NIOSH ACGIH 0.1mg/m³(In として)		物性等 密度 : — g/cm³ (20℃) 沸点 : — °C 融点 : — °C	
別名			
サンプリング		分析	
サンプラー : サイクロン(25mm Φ,37mm Φ) (GS-3 Multiple-inlet Cyclone・SKC inc.製) (GS-1 Respirable Dust Cyclone・SKC inc.製) サンプリング流量 : 2.75L/min (GS-3)、2.0 L/min (GS-1) サンプリング時間 : 10min 採気量 : 27.5L (GS-3)、20 L (GS-1) 保存性 : 抽出用混酸で抽出後の試料液 (抽出液) は 15 日間までは常温で変化しないことを 確認 ブランク : 検出せず		分析方法 : ICP-MS 法 抽出 : 抽出用混酸 (水 : 硝酸 : 塩酸 = 4 : 1 : 3) 17mL : 160℃ホットプレートで蒸発乾固直前ま で加熱、冷却後、希釈用酸 (5%抽出用 混酸) で 40m L に定容 総インジウムとして定量 機器 : Agilent 7500 i RF パワー : 1400W RF マッチング : 1.7V キャリアーガス : アルゴン 1.0L/min 測定質量数 (m/Z) : 115 積分時間 : 0.3sec (3 回繰り返し) 検量線 : 市販標準液(1000 μ g /mL)を希釈酸 (5%抽出用混酸) で調整 0~100ng/mL の範囲で直線 濃度計算 : 干渉補正式を使用 定量法 : 絶対検量線	
精度			
回収率 101% (99~103%) 検出下限 (3 σ) 0.02ng/mL (酸溶液の濃度) 定量下限 (10 σ) 0.07ng/mL (酸溶液の濃度) 0.00011mg/m³ (採気量 27.5L, 定容液量 40mL) 0.00014mg/m³ (採気量 20L, 定容液量 40mL)			
適用			
妨害			
リット参考 NIOSH Manual of Analytical Methods No.7301 SKC Inc. GS-3Multiple-inlet Cyclone Catalog Nos.225-100 and 225-103 SKC Inc. Publication #1711 Rev 1008			

インジウム及びその化合物標準測定分析法（個人ばく露測定）（総粉じん）

構造式: In 及びその化合物		分子量:特定できない	CASNo.: 特定できない
許容濃度等 : OSHA NIOSH ACGIH 0.1mg/m³(In として)		物性等 密度 : - g/cm³ (20℃) 沸点 : - °C 融点 : - °C	
別名			
サンプリング		分析	
サンプラー : 25mmΦメンブランフィルター (AAWP02500・日本ミリポア(株)) サンプリング流量 : 1.0L/min サンプリング時間 : 480min 採気量 : 480L 保存性 : 抽出用混酸で抽出後の試料液 (抽出液) は 15 日間までは常温で変化しないことを 確認 ブランク : 検出せず		分析方法 : ICP-MS 法 抽出 : 抽出用混酸 (水 : 硝酸 : 塩酸 = 4 : 1 : 3) 17mL : 160℃ホットプレートで蒸発乾固直前ま で加熱、冷却後、希釈用酸 (5%抽出用 混酸) で 40m L に定容 総インジウムとして定量 機器 : Agilent 7500 i RF パワー : 1400W RF マッチング : 1.7V キャリアーガス : アルゴン 1.0L/min 測定質量数 (m/Z) : 115 積分時間 : 0.3sec (3 回繰り返し) 検量線 : 市販標準液(1000 μ g /mL)を希釈酸 (5%抽出用混酸) で調整 0~100ng/mL の範囲で直線 濃度計算 : 干渉補正式を使用 定量法 : 絶対検量線	
精度			
回収率 101% (99~103%) 検出下限 (3 σ) 0.02ng/mL (酸溶液の濃度) 定量下限 (10 σ) 0.07ng/mL (酸溶液の濃度) 0.000006mg/m³ (採気量 480L, 定容液量 40mL)			
適用			
妨害			
リット参考 NIOSH Manual of Analytical Methods No.7301			

作成日平成22年2月29日

インジウム及びその化合物標準測定分析法（作業環境測定）（総粉じん）

構造式: In 及びその化合物		分子量:特定できない	CASNo.: 特定できない
許容濃度等 : OSHA NIOSH ACGIH 0.1mg/m³(In として)		物性等 密度 : - g/cm³ (20℃) 沸点 : - °C 融点 : - °C	
別名			
サンプリング		分析	
サンプラー : 47mmΦメンブランフィルター (AAWP04700・日本ミリポア(株)) サンプリング流量 : 10.0L/min サンプリング時間 : 10min 採気量 : 100L 以上 保存性 : 抽出用混酸で抽出後の試料液 (抽出液) は 15 日間までは常温で変化しないことを 確認 ブランク : 検出せず		分析方法 : ICP-MS 法 抽出 : 抽出用混酸 (水 : 硝酸 : 塩酸 = 4 : 1 : 3) 17mL : 160℃ホットプレートで蒸発乾固直前ま で加熱、冷却後、希釈用酸 (5%抽出用 混酸) で 40m L に定容 総インジウムとして定量 機器 : Agilent 7500 i RF パワー : 1400W RF マッチング : 1.7V キャリアーガス : アルゴン 1.0L/min 測定質量数 (m/Z) : 115 積分時間 : 0.3sec (3 回繰り返し) 検量線 : 市販標準液(1000 μ g /mL)を希釈酸 (5%抽出用混酸) で調整 0~100ng/mL の範囲で直線 濃度計算 : 干渉補正式を使用 定量法 : 絶対検量線	
精度			
回収率 101% (99~103%) 検出下限 (3 σ) 0.02ng/mL (酸溶液の濃度) 定量下限 (10 σ) 0.07ng/mL (酸溶液の濃度) 0.00003mg/m³ (採気量 100L, 定容液量 40mL)			
適用			
妨害			
リット参考 NIOSH Manual of Analytical Methods No.7301			

作成日平成 22 年 2 月 29 日